

# 新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

## 第三話

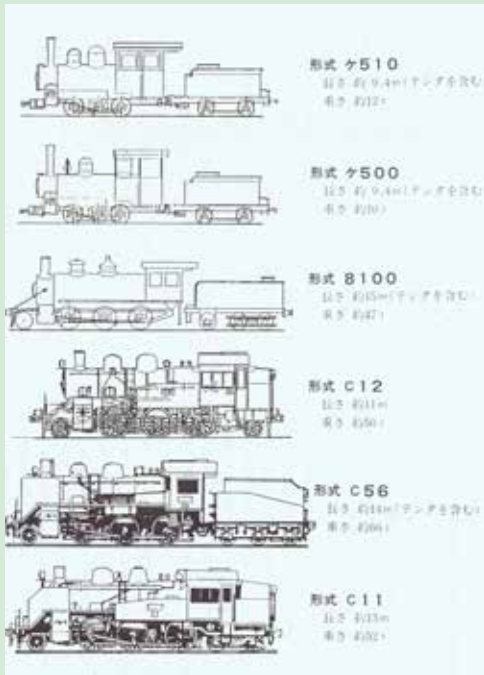
### 「日高本線の蒸気機関車」(要約文)

日高本線が開通する契機になったのは、明治時代に三井財閥経営の王子製紙株式会社(苦小牧)に設置されたからといわれています。紙をつくるためのパルプ原料を確保するため、木材の輸送が必要となり、明治40年に苦小牧と鶴川間の馬車鉄道を建設することになったのははじまりです。その後、明治44年には沙瑠太(現在の富川)まで鉄道が伸びます。やがて、日高の住民から一般の営業路線としての鉄道に転換するよう要望が高まり、苦小牧軽便鉄道が設立しました。大正12年には日高拓殖鉄道も設立、1つの鉄道路線に2つの鉄道会社関わっていたこととなります。大正15年には静内まで開通し、新冠村に「節婦駅」と「高

江駅」が設置されます。昭和2年、2つの鉄道会社は鉄道省に買収され、後の国鉄が経営を行います。「高江駅」はかつて、新冠の市街までを高江と呼んでいたことに由来しています。昭和23年には、現在の「新冠駅」に改称しています。

日高本線で走っていた蒸気機関車は、「ケ510形」、「ケ500形」、「8100形」、「C12形」、「C56形」、「C11形」などの種類がありました。機関車は昭和49年までディーゼルカーと併用して走っていましたが、ディーゼル列車の全面運行により、「SL」の姿は消えてしまいました。その背景には、無煙化、スピード化という時代の流れがあり、さらに自動車の著しい普及により、鉄道そのものの影が薄れるようになってしまいました。

\* 現在の高潮被害の影響で、列車の姿さえ見えません。  
\* 挿図出典：『日本蒸気機関車形式集成(1969年)』、『蒸気機関車(1975年)』、『機関車入門(1972年)』より



日高本線を走っていた蒸気機関車の種類

## 製品事故を防止して、楽しい夏を！！

・年に1度コンセントの周りや、使っている電化製品の掃除をしましょう。

消防署新冠支署

火災・救急出動状況		( ) かつこ内は前年同期	
区分	火災件数	救急件数	
6月	0件(0件)	20件(27件)	
30年1~6月	0件(3件)	153件(132件)	
交通事故発生状況		( ) かつこ内は前年同期	
区分	発生件数	死者	傷者
6月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
30年1~6月	4件(2件)	0人(0人)	5人(3人)

## 人のうごき

(平成30年6月末現在)

人口	5,592人	(前月比 - 10人)
男	2,740人	(前月比 - 7人)
女	2,852人	(前月比 - 3人)
世帯	2,766世帯	(前月比 + 1世帯)